

10/9 福井

国内死者、予測を4万人超え

今年前半、国立感染研推計

コロナで医療逼迫影響か

死着数が例年の水準に基
づいては予測値に比べて少い
が、新型コロナウイルス流
行以来で最多となつたとの
見方もある。この間の総死着数
は77万7千人で、新型コロ
ナに感染して死亡したのは
1万2800人超だった。

コロナによる直接死のほか、
医療逼迫の影響で医療機関
にアクセスできず、新型コロ
ナ以外の疾患で亡くなった
ケース、外出抑制など生活
習慣の変化に伴い持病が悪
化したケース、経済的な困
窮によって自殺したケース
などがある。専門家は、これら
の実際の死者数から、過去

は77万7千人で、新型コロ
ナに感染して死亡したのは
1万2800人超だった。
增加の要因として、新型
コロナによる直接死のほか、
医療逼迫の影響で医療機関
にアクセスできず、新型コロ
ナ以外の疾患で亡くなった
ケース、外出抑制など生活

習慣の変化に伴い持病が悪
化したケース、経済的な困
窮によって自殺したケース
などがある。専門家は、これら
の実際の死者数から、過去

のアーテクを基に統計的に予
測された死者数を差し引い
た「超過死」数を計算した。
感染症流行の影響などを調
べるために使われる手法で、
直接的な死」だけでなく、
他疾患を含めた全ての死者
数が予測値からどの程度増
減したかが分かる。

分析結果によると、今年
は実際に報告された死者数
が、予測された死者数の下
限値を上回る状態が継続
する「第7波」の影響で、
7月以降も多数の死者が出
ており、21年を上回る可能
性が高い。

どが8日までにまとめた。
ども、厚生労働省の人口動態統計
（推計値）や共同通信の集
計では、この間の総死着数
は77万7千人で、新型コロ
ナに感染して死亡したのは
1万2800人超だった。

つた2~3月の間に、1
週間ごとの死者数が予測の
上限値を数千人上回る事態
が続いた。

分析した感染研の鈴木基
感染症医学センター長は、「社
会的要因を含めて広い意味
で新型コロナの流行拡大の
影響といえる」としている。
22年はオミクロン株によ
る流行「第7波」の影響で、
7月以降も多数の死者が出
ており、21年を上回る可能
性が高い。

今年1~6月に推計を国立感染症研究所な